答え 3月23日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



世界気象デーにちなんで「お天気クイズ」

【第1問】天気予報の「降水確率30%」とは、どういう意味でしょう？

① 1日の3割の時間だけ降る

② 地域の3割で降る

③ 同じ予報100回のうち30回くらい降る

同じ「30%」の予報が100回出たら、そのうち30回くらいは1ミリ以上の雨や雪が降る、という意味です。雨の量や強さとは関係ありません。

【第2問】「春一番」は、どちらから吹く風でしょう？

① 北　② 南　③ 西

立春から春分のころに、はじめて吹くあたたかい南よりの強い風です。春が近づいた知らせですが、風が強いので注意も必要です。

【第3問】夏の空にもくもくわく「入道雲（にゅうどうぐも）」。正しい名前は？

① 積乱雲　② すじ雲　③ うろこ雲

入道雲は「積乱雲（せきらんうん）」のことです。雷雲（かみなりぐも）とも呼ばれ、雷やはげしい雨をふらせることがあります。

【第4問】空の雲の量が何割までなら、天気は「晴れ」でしょう？

① 2割　② 5割　③ 8割

気象庁では、雲の量が0～1割なら「快晴」、2～8割なら「晴れ」、9割以上で「くもり」です。けっこう雲があっても「晴れ」なのですね。

【第5問】天気予報でおなじみの、気象衛星の名前は？

① ひまわり　② あさがお　③ たんぽぽ

1号は昭和52年（1977年）に打ち上げられました。空の上から24時間ずっと地球を見つめることから、太陽を思わせる「ひまわり」と名づけられたそうです。

【第6問】雪の結晶（けっしょう）は、ふつう何角形でしょう？

① 三角形　② 六角形　③ 八角形

雪の結晶は六角形が基本です。人工の雪を作ることに成功した中谷宇吉郎（なかやうきちろう）博士は、雪の形が気温と水蒸気の量で決まることを見つけました。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます